

第11回 科学の甲子園ジュニア全国大会 総合成績第1位（香川県初V！）

1 目的 全国の中学生が科学と実生活のつながりに気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として平成25年に創設。

2 香川県チームの成績

総合成績 第1位（文部科学大臣賞・トヨタ賞）
筆記競技 第1位（UBE三菱セメント賞）
実技競技② 第3位

3 出場選手

2年 黒田 奈々華（香川大学教育学部附属高松中学校）
2年 小川 朔太郎（香川大学教育学部附属高松中学校）
2年 田中 隆正（香川県立高松北中学校）
2年 松岡 俊太（香川大学教育学部附属高松中学校）
2年 宮武 孝太朗（香川大学教育学部附属高松中学校）
2年 宮前 和弥（香川大学教育学部附属坂出中学校）



4 全国大会の出場資格と人数 都道府県大会で選抜された47チームを全国大会の出場チームとし、各都道府県1チームずつとする。チームは中学1、2学年の生徒6人で構成。第11回は各都道府県の26,369人の生徒がエントリーし、選抜された合計277名が全国大会に出場。

5 競技の種類 筆記競技と実技競技からなり、筆記競技は、理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容。実技競技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題解決能力を競う内容。

6 日時 令和5年12月8日（金）～10日（日）

7 会場 アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）（兵庫県姫路市）

8 主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）

9 これまでの成績

令和元年度の成績 全国第 3位入賞、実験競技部門第2位
令和3年度の成績 全国第 15位入賞、情報部門第1位
令和4年度の成績 全国第 9位入賞、実技競技①第4位、フレッシュマン応援賞
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止